

<h1>第 364 回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	記録
	企画運営委員長 保 科	企画運営委員 森

- ◎ 日 時：2024年1月19日（金）13時00分～16時35分（ブレイクアウトルーム12時半～17時00分）
- ◎ 場 所：リモート開催（Zoom）
- ◎ 出席者：27名（法人会員16名9社、個人会員10名、オブザーバー参加1名）

## 1. 開会挨拶・トピックス、個人会員活動紹介、他

13:00～13:15 企画運営委員長 保科 修一 氏

- ・個人会員にも発表、活躍の場を設ける。（アンケートにて意見等を伺う）

## 2. 会長挨拶「2024年 年頭挨拶」

13:15～13:23 会長 中村 瑞穂 氏

- ・研究成果が見える化、発表の活動を活発化する。また、一般社団法人化する。  
月例会においても継続して開催していく。

## 3. 技術講演「国際規格の動向等について」

13:28～14:51 テュフラインランドジャパン（法人会員） 杉田 吉広 氏

- ・機械安全関係の国際規格開発組織（ISO、IEC）についての提案から発行までのステップなど概要および最新動向を説明された。

## 4. 討議説明「機械安全技術者への提言」

15:05～15:23 企画運営副委員長 大西 正紀 氏

- ・機械安全のことは、あいつに聞け（相談しろ）、社内で機械安全の専門家（社内トップ）と認められる人材になり機械安全技術の仲間を社内外につくることを提言。

## 5. 課題討議「機械安全技術者はどうあるべきか？」

15:23～16:33 参加者全員

- ・国内では機械安全の機運が低調である。機械安全の推進は経営者の役割であるが、実務を担当する技術者は、専門性ととともに、法令順守と顧客満足を果す気概が必要である。  
技術者の姿勢と行動について討議した。

## 6. 閉会挨拶・その他

- ・メーカー側からの意見もいただけ幅広く討議が行われた。
- ・次回第365回月例会は、2月16日（金）年次総会併催 14時10分～16時半 リモート開催予定。

月例会説明資料：ホームページ内の会員専用ページにて掲載

以上